

1. 策定の背景

1) 自転車活用推進法・自転車活用推進計画

- ◇平成29年5月に「自転車活用推進法」を施行、平成30年6月に「自転車活用推進計画」を策定（計画期間：平成30年度～令和2年度）。
- ◇計画では、下記4つの目標を設定。
 - ・自転車交通の役割拡大による**良好な都市環境の形成**
 - ・サイクリススポーツの振興等による活力ある**健康長寿社会の実現**
 - ・サイクルツーリズムの推進による**観光立国の実現**
 - ・自転車事故のない**安全で安心な社会の実現**

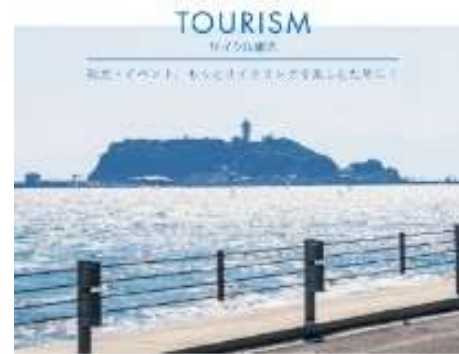
【GOOD CYCLE JAPANが掲げる4分野の整備】



＜サイクル都市環境＞



＜サイクル健康＞



＜サイクル観光＞



＜サイクル安全＞

出典：自転車活用推進本部ホームページ

1) 自転車活用推進法・自転車活用推進計画

- ◇自転車活用推進法では、**自転車専用道路の整備**や**駐輪場整備**、**交通安全に係る教育及び啓発**、**健康の保持増進**などの14項目の基本方針を設定。
- ◇法第11条に基づく市町村自転車活用推進計画を、35都道府県、33市町で策定済み（R2.6時点：自転車活用推進本部HPより）。

【自転車活用推進法の14項目の基本方針】

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ①自転車専用道路等の整備 | ⑧交通安全に係る教育及び啓発 |
| ②路外駐車場の整備等 | ⑨国民の健康の保持増進 |
| ③シェアサイクル施設の整備 | ⑩青少年の体力の向上 |
| ④自転車競技施設の整備 | ⑪公共交通機関との連携の促進 |
| ⑤高い安全性を備えた自転車の供給体制整備 | ⑫災害時の有効活用体制の整備 |
| ⑥自転車安全に寄与する人材の育成等 | ⑬自転車を活用した国際交流の促進 |
| ⑦情報通信技術等の活用による管理の適正化 | ⑭観光来訪の促進、地域活性化の支援 |

2) 長野県自転車活用推進計画

◇平成31年3月に、長野県では「長野県自転車活用推進計画」が策定され、「安全・安心」「利用環境」「健康・環境負荷」「観光」などの視点で自転車を活用することを位置付け。

【長野県自転車活用推進計画の実施すべき施策】

安全 安心

実施すべき施策

- 1 学校・事業所における交通安全教育を推進します。(学校における交通安全教育充実等)
- 2 自転車通行ルールを守る県民意識を高めます。(特に冬期の安全利用啓発等)
- 3 安全性の高い自転車の普及を促進します。(自転車貸付業者の登録制度等)
- 4 災害時における自転車活用を推進します。

利用 環境

実施すべき施策

- 5 自転車通行空間のネットワーク化と広域的な整備を推進します。
 - ・自転車専用通行帯や路面標示などによる市街地のネットワーク整備
 - ・県1周『Japan Alps Cycling Road』の整備（諏訪・北アルプス地域から先行着手）
（シャパン アルプス サイクリング ロード）
 - ・千曲川サイクリングロード・あづみ野やまびこ自転車道といった既存自転車道リニューアル等
- 6 地域のニーズに応じた駐輪場の整備を促進します。
- 7 レンタルサイクル・シェアサイクルの普及を推進します。
- 8 違法駐車取締りを推進します。

健康 環境負荷

実施すべき施策

- 9 自転車による健康づくりを推進します。（信州ACEプロジェクト推進、自転車の機会増等）
- 10 環境負荷の低い交通手段への転換を図ります。
- 11 豊かな自然環境と自転車が共存できる環境を構築します。
（自然公園等におけるマウンテンバイクの適正な利用に向けた地域ルールづくり）

観光

実施すべき施策

- 12 サイクルツーリズムが楽しめる基盤づくりを進めます。
（官民連携のサイクルツーリズム推進組織立上げ、一元的な情報発信ウェブサイトの構築等）
- 13 サイクルツーリズムの推進によるサービス産業の多様化・高付加価値化を進めます。

<Japan Alps Cycling プロジェクト>

-

[illegible]

3) 近隣自治体の取組状況（長野市）

①長野市自転車活用推進計画

- ◇「自転車で「ながの」を早爽と ～自然・健康・家計にやさしいまち～」を目標像として、市民目線での自転車利用に主眼をおいた計画を策定。
- ◇自動車交通からの転換を図るため、エコ通勤等を促進している。

【目標像と計画体系】

【施策例】エコ通勤の推進



・通勤時間帯の渋滞緩和、公共交通の利用促進及び環境負荷の低減などを目的として、自家用車から環境負荷の少ない電車やバス、自転車、徒歩などへの転換を目指す

【街頭での啓発活動】



出典：長野市自転車活用推進計画
長野市ホームページ

3) 近隣自治体の取組状況（諏訪湖周）

② 諏訪湖周自転車活用推進計画

◇「諏訪湖創生ビジョン」（H30.3）で示されている「サイクリングロードを利用する人も増え、自転車を楽しむ愛好者の拠点として機能している」といった将来像の実現を目的とし、**諏訪湖周のサイクリング環境の創出を図る**ことを目指している。

【4つの目標】

目標1「交通環境」：誰もが無理なく快適に利用できる諏訪湖周のサイクリング環境の創出

目標2「健康・スポーツ・環境」：諏訪湖の自然や湖畔からの眺望を楽しみながら、誰もが気軽に健康増進を図れるサイクリング環境の整備

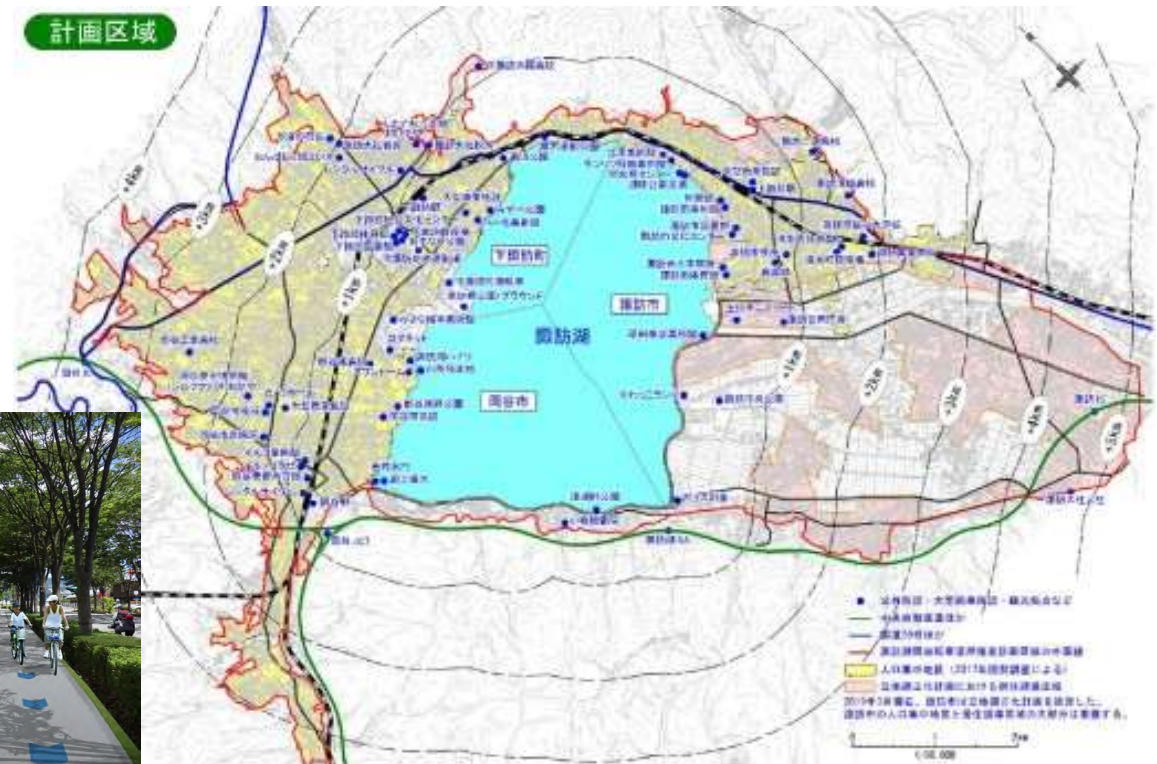
目標3「観光振興」：諏訪湖周に立ち並ぶ美術館や公園などの施設と連携したサイクリング環境の整備

目標4「安全・安心」：自転車事故のない安全で安心な諏訪湖周のサイクリング環境の整備

【歩道と自転車道を整備したイメージ図】



【計画区域（赤線内）】



出典：諏訪湖周自転車活用推進計画

3) 近隣自治体の取組状況（伊那市）

③伊那市自転車活用推進計画

- ◇「観光」「健康」「都市環境」「交通安全」の4つの目標が基本方針。
- ◇特に、**観光振興**について具体的取組が示され、**観光資源を活かしたサイクルルートの創出**や、**既存の自転車アクティビティの活用**を図ることを目指している。

【4つの目標】

【施策例】既存のマウンテンバイク施設の活用と官民の連携

目標1. サイクルツーリズムの推進による新しい観光開発

目標2. 自転車の利用推進による活力ある健康長寿社会の実現

目標3. 自転車の交通手段としての役割拡大と利用環境の向上

目標4. 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

- ・市内では、すでに2つのマウンテンバイク施設があり、海外からの利用もある。
- ・今後、多言語化等受入体制を整備していく中で、利用客の拡大を目指す。
- ・コースの延長や整備について、民間、地域、行政が協力する中で、利用客の拡大による地域振興を図る。

【「トレイル・カッター」による山林を利用したマウンテンバイクのガイドツアー】



【H31年度に営業を開始した「中央アルプスマウンテンバイクトレイル」】



2. これまでの経緯

1) 科野さらしなの里サイクリング推進委員会

- ◇平成28年8月に戸倉上山田温泉旅館組合や市内外の自転車愛好家、行政機関（長野県千曲建設事務所・千曲市）により設立。
- ◇継続的に千曲川サイクリングロードを軸としたサイクリング環境の創出に向けて検討、整備。

<これまでのサイクリング環境創出に向けた主な取組>

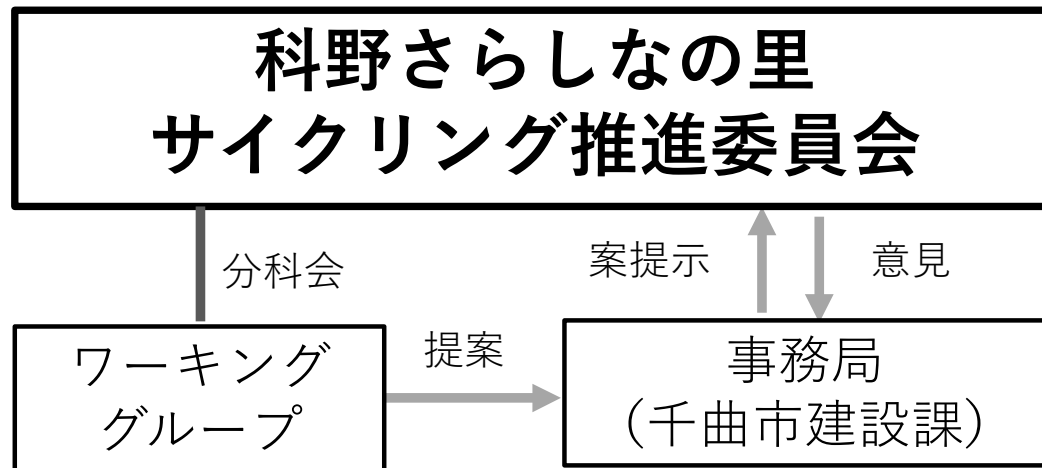
- ①サイクリングコースの設定（全9コース）
- ②サイクリングマップの作成（日本語・英語・繁体語）
- ③大型案内看板の設置（戸倉上山田温泉のカラコ口足湯前）
- ④道標の整備（サイクリングコースに随時整備中）
- ⑤千曲川サイクリングロードのリニューアル（舗装を随時修繕）
- ⑥「自転車の駅」の認定・整備（4箇所を認定、サイクルスタンドを13箇所・15基設置）



2) 千曲市自転車活用推進計画の策定

◇「千曲市自転車活用推進計画」は、これまで取り組まれてきたサイクルツーリズムの流れを踏まえ、観光振興に特化した内容とし、「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」において、計画を審議。

◇計画期間は、令和2（2020）年度～令和8（2026）年度の7年間。



【計画の策定体制】

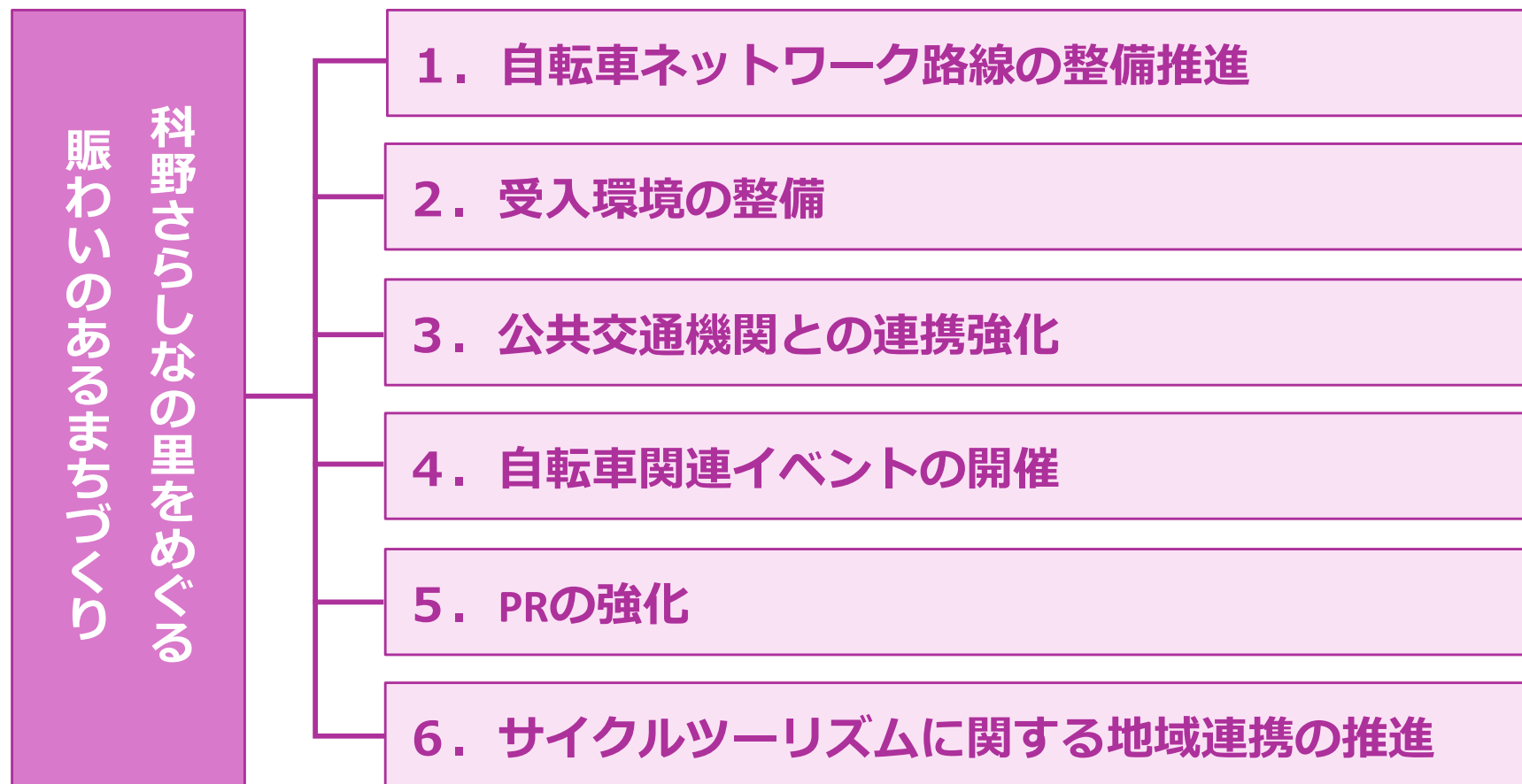


【委員会の様子】

3) 千曲市自転車活用推進計画 (R2.3策定)

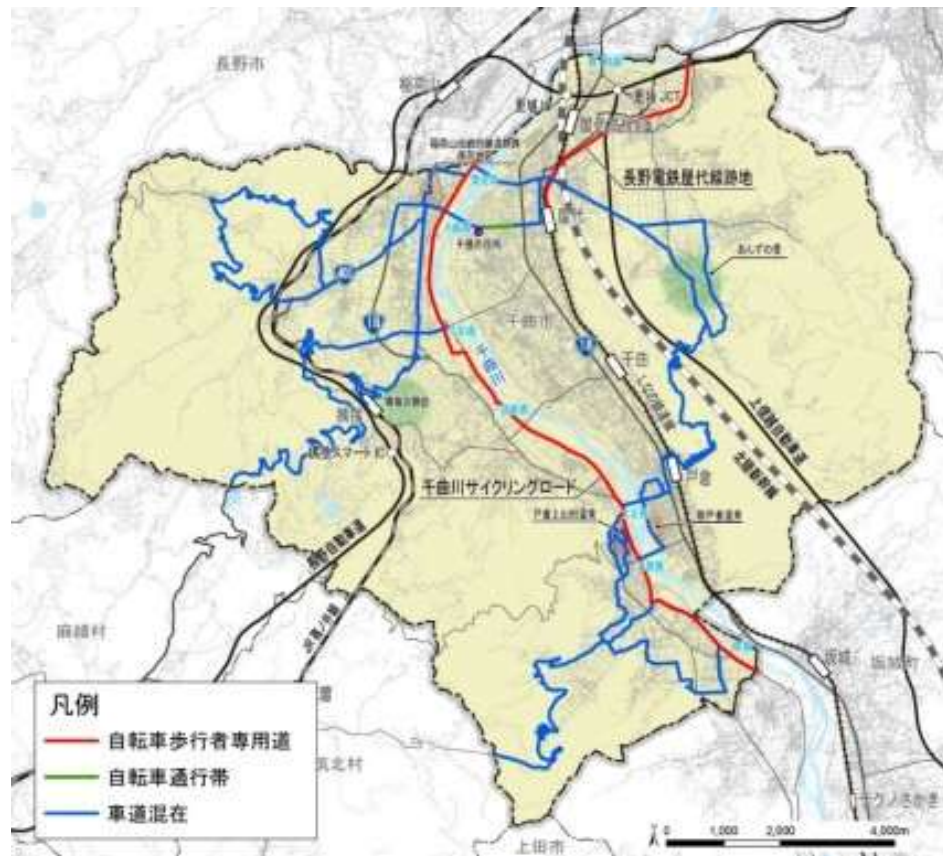
【基本目標】

科野さらしなの里をめぐる 賑わいのあるまちづくり
～千曲川サイクリングロードを核としたサイクルツーリズムの推進～



1. 自転車ネットワーク路線の整備推進

◇市内の主要観光地を巡る計9本のサイクリングコースなどを**自転車ネットワーク路線**として選定し、ルートのご案内表示などを設置（今年度、市民の自転車利用実態を踏まえ見直し予定）。



【千曲市自転車ネットワーク路線】



【サイクリングコースの路面表示】



【ガイド付きサイクリングツアー】

2. 受け入れ環境の整備

- ◇民間事業者や観光事業者と連携し、千曲市内外を周遊することができるレンタサイクルやシェアサイクルの実施を検討。
- ◇サイクリング拠点である「自転車の駅」の認定を推進。
- ◇駐車場で自転車を組み立て、千曲市内をサイクリングするサイクリストのために駐車場の整備や無料で利用できる駐車場の整備を支援。



【信越自然郷アクティブセンター（飯山市）】



【e-BIKEのレンタサイクル（飯山市）】

3. 公共交通機関との連携強化

- ◇鉄道事業者との連携を図り、サイクルスタンドや自転車組立スペース、レンタサイクル、ガイドツアーの整備などにより、**鉄道駅のサイクリング拠点化を目指す。**
- ◇鉄道事業者と連携したサイクルトレインの運行を目指す。
- ◇バス事業者と連携し、利用ニーズや課題を把握した上で、サイクルバスを運行する。



【米原駅サイクルステーション（米原市）】



【自転車組立場（尾道市）】

4. 自転車関連イベントの開催

- ◇民間事業者や観光事業者と連携し、本市や周辺市町村の魅力的な地域資源をつなぎ、発信する**自転車関連イベントを開催**。また、市内各地において**ガイド付きサイクリングツアーを開催**。
- ◇市民が自転車を楽しむきっかけを作るために、千曲ランなどの各種スポーツイベントとの連携を図り、市民を対象とした自転車関連イベントを開催。



【千曲サイクリングイヤーのサイクリング】

5. PRの強化

- ◇宿泊施設や公共施設、道の駅などサイクリストが立ち寄る施設にマップを設置。
- ◇スマートフォンなどで閲覧することができるように、民間のサイクリングルート共有サイトなどを活用した情報発信。
- ◇市内のサイクリングルートや自転車の駅、おすすめスポットなどのサイクリングに役立つ情報を発信するポータルサイトの作成。



【科野さらしなの里サイクリングのポータルサイトイメージ】

6. サイクルツーリズムに関する地域連携の推進

- ◇ナショナルサイクルルートに指定される3ルートなど、全国的な先進事例として調査し、本市のサイクルツーリズムの促進に活用。
- ◇県内市町村や県外都市との連携を図り、サイクルツーリズムに関する都市間のネットワークづくりを推進。



【しまなみ海道サイクリングロード（尾道市）】



【プレイアトレ（土浦市）】

3. 計画方針

都市環境

- ◇市民目線での自転車ネットワーク路線を追加
- ◇近隣市町との広域ネットワークの形成
- ◇新規道路整備に併せた自転車通行空間整備の実施
- ◇市民の自転車利用促進に関する広報啓発 など

スポーツ・健康

- ◇既存イベントでの自転車の活用推進
- ◇自転車利用による健康増進効果についての情報発信
- ◇自転車通勤の推奨（行政職員の自転車通勤促進）

観光

- ◇宿泊施設や公共施設等にマップの設置等。
- ◇市内外を周遊することができるレンタサイクル等促進
- ◇自転車関連イベントの開催等

交通安全

- ◇ライフステージ別の交通安全教室の実施（幼児・小中高校・事業所・高齢者別）
- ◇交通安全意識の向上を図る広報啓発
- ◇災害時の自転車活用促進